

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年2月26日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人梅香会	デイサービスセンター いわね潮の香園	地域密着型通所介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	積水ホームテクノ リフト付きシャワーキャリー WLC-100	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年1月12日	1台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 通所介護の入浴介助の際、浴槽への身体移乗介助において、身体的な負担が大きい又は、転倒・転落等のリスクが高い利用者に対し、本機器を使用している。使用頻度はほぼ毎日であり、週6日の営業日の全日で使用しており、1日平均3人程度の浴槽移乗を行っている。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 浴槽に合わせた高低の調整が安易な為、利用者に負担なく、安全に安心して浴槽へ移る事ができるようになった。又、介助者にとっても、無理な体制で作業することがなくなった為、事故やケガへの不安が払拭できた。2人での移乗介助の必要もなくなり、他業務へ労力を向ける事で、効率化とサービス向上にも繋がっていると思える。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 利用者が乗車した状態での、前後左右への車輪の取り回しが重たく感じる。本機器を使用して連続で入浴介助をすると、腰の疲労感が残ることがある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年 3月 13日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 朋友会	特別養護老人ホーム アグリ・ケアホームいこいの森	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	Wells リフトキャリ	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 2年 2月 11日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・導入までは介助量が多い場合には、機械浴を使用していたが、導入後は、週1回～2回程度使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 介護者が中腰になる頻度が大幅に減り、負担の軽減につながった。 利用者様の浴室内での移乗や移動がなく職員も利用者様の安心・安全な入浴につながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・浴槽内では、後方に倒すことができない為、少し窮屈な姿勢になり、リクライニング機能があればゆっくりと浴槽に浸かることができると思う。 ・ストレッチャーに対して浴槽の長さが合わない為、身長の高い方や、下肢が拘縮している利用者様にとっては浴槽に入る際に、浴槽の長さに合わせて膝を曲げることができず、浴室の選定で対象外となってしまうこともある。 ・浴室内へスライドする際足のステップ部分に保護がないため皮膚の弱い利用者様にとっては特に内出血や剥離等の外傷の危険性がある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年 3月 5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 修央会	特別養護老人ホーム 船橋笑寿苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	We11s リフトキャリー	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年 1月14日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 個別浴槽に入浴支援ロボットを設置したことにより、入浴業務の負担軽減になった。使用頻度は週5日で稼働している。今まで介護職員2人で入浴業務を行っていたが、一人での入浴業務が可能となった。 業者による使用方法の研修を介護職員に行うことにより安全に使用することが出来ている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 個別浴槽にリフトが付いたことにより、個別浴槽で入浴ができる入居者がふえた。入居者からは、スライドするリフトなので安全に恐怖感なく入浴できると好評である。寝台浴層から移行になった入居者からはゆっくりと入浴出来てうれしいとの声が聞かれている。寝台浴層での介助は介護職員2名を要するが、リフトが付いたことにより介護職員1名で安全に入浴することが出来て業務改善に役立っている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 使い勝手が悪いとの報告はない。		